

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公開番号】特開2000-59810(P2000-59810A)

【公開日】平成12年2月25日(2000.2.25)

【出願番号】特願平11-185946

【国際特許分類】

H04N 9/73 (2006.01)

H04N 5/59 (2006.01)

【F I】

H04N 9/73 E

H04N 5/59

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 カラー受像管(1)または投写管のためのビデオ信号処理回路装置であって、

基準陰極電流を用いた前記カラー受像管(1)の各管システムのカットオフ調整のためのデバイスを有し、前記基準陰極電流は、疑似ブラック信号値に相応し、各RGBカラーチャネルにおいてそれぞれ垂直帰線消去期間中にビデオ信号プロセッサによってカラー受像管(1)または投写管の駆動信号へ挿入される測定パルスによって引き起こされ、カットオフ調整のために生成された調整電圧により各測定パルスのカットオフポイントが直流電圧オフセットを介してそのつど基準ビーム電流が生じるように調整される形式のものにおいて、

陰極(K)において設定される最小疑似カットオフがアンダーシュートに至るのを防ぐ調整デバイス(10)が設けられており、

前記調整デバイス(10)は、カットオフ調整のために各RGBカラーチャネルにおいて生じるカットオフ調整電圧を測定する測定回路を有しており、該測定回路は有利には、各RGBカラーチャネルに割当てられる3つの測定トランジスタ(15, 16, 17)によって構成されており、前記トランジスタ(15, 16, 17)はエミッタフォロワとして接続され共通のエミッタ抵抗(18)を有しております。

カラー受像管(1)のウェーネル電極(G1)に供給する調整電圧(URG1)を得るために、エミッタレジスタ(18)からピックアップされたカットオフ調整電圧が、不揮発性メモリ(12)内に記憶されている基準値と比較されるように構成されていることを特徴とする回路装置。

【請求項2】 装置の初期化モードに対して制御可能なスイッチ(13, 14)が設けられており、前記初期化モードは工場出荷時にまたは修理の際に開始可能であり、前記初期化モードによって当該モード中に共通のエミッタ抵抗(18)からピックアップされたカットオフ調整電圧が、読み出し/書き込みメモリ(12)の書き込み入力側に供給可能であり、さらに調整デバイス(10)に対する基準値もしくは基準変量として記憶可能である、請求項1記載の回路装置。

【請求項3】 前記測定回路は、部分的にまたは全体的にデジタル形式でプロセッサ内に設けられる、請求項1記載の回路装置。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0006**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0006】****【課題を解決するための手段】**

上記課題は本発明により、陰極において設定される最小疑似カットオフがアンダーシュートに至るのを防ぐ調整デバイスが設けられており、前記調整デバイスは、カットオフ調整のために各RGBカラー・チャネルにおいて生じるカットオフ調整電圧を測定する測定回路を有しており、該測定回路は有利には、各RGBカラー・チャネルに割当てられる3つの測定トランジスタによって構成されており、前記トランジスタはエミッタフォロワとして接続され共通のエミッタ抵抗を有しており、カラー受像管のウェーネル電極に供給する調整電圧を得るために、エミッタレジスタからピックアップされたカットオフ調整電圧が、不揮発性メモリ内に記憶されている基準値と比較される構成によって解決される。